

No.	プロジェクト名	2015年度		2016年度						県の一次評価	総合計画審議会による二次評価(案)
		県の一次評価	総合計画審議会による二次評価	数値目標項目	数値目標				備考 (把握予定時期)		
					単位	目標値	実績値	達成率 (%)			
1	未病	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は3項目中1項目で未把握ですが、「未病センター」設置数、「未病を治すかながわ宣言協力活動」への登録事業所数(累計)が目標値を大きく上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・未病の取組みについて、県民にさらに浸透するような取組みが必要です。 ・県民が自らの健康状況を把握する手法などを分かりやすく示していく必要があります。	①「未病センター」設置数、「かながわ未病改善協力制度」の参加事業所数(累計)	箇所	7,000	7,147	102.1		概ね順調に進んでいます	やや遅れています 「未病センター」の設置数、「かながわ未病改善協力制度」の参加事業所数は数値目標を上回っていますが、健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている人の割合は横ばいであり、また、健康に関する県民ニーズ調査の結果も低下するなど、健康への意識が高くない県民への周知等が十分とは認められないことなどから、「やや遅れている」と評価します。 ・健康に対する関心が高くない方々を中心に、未病改善によって得られる効果を分かりやすく示すなど、未病の考え方の県民への一層の周知を図る必要があります。 ・未病改善の取組みは積極的に進められていますが、先駆的な取組みであり、また、プロジェクトのねらいの実現には一定の期間を要するため、定期的に成果を分析し、より効果的な取組みを検討する必要があります。
				②日ごろから健康に気をつけた規則正しい生活を心がけている人の割合	%	80.0	71.2	89.0		・数値目標の達成状況は3項目中1項目で未把握ですが、「未病センター」設置数、「かながわ未病改善協力制度」の参加事業所数(累計)が目標値を大きく上回り、子どもの未病対策や未病女子対策をはじめとするライフステージに応じた未病対策を新たに展開するなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	
				③特定健康診査・特定保健指導の実施率	%	65.5 39.8	-	-	(2018年秋)		
2	医療	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は4項目中2項目で未把握ですが、マイME-BYOカルテの利用者数が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・最先端医療の実用化や普及促進が県民の健康増進・医療環境向上に寄与することを分かりやすく示していく必要があります。 ・看護などの人材確保については、就労をとりまく環境の改善などとあわせて、さらなる取組みが必要です。	①マイ未病カルテ(個人向け医療・健康カルテ)の利用者数(累計)	万人	1	1.5	150.0		概ね順調に進んでいます	概ね順調に進んでいます マイME-BYOカルテの利用者数が増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・マイME-BYOカルテなど新たなヘルスケアシステムの構築を進めるに当たっては、重点的なターゲットを設定し、効果的に取組みを進めていく必要があります。 ・最先端医療の普及促進が県民の医療環境の向上や健康増進に寄与することを、県民に分かりやすく示す必要があります。
				②在宅療養支援診療所の数(累計)	施設	922	-	-	(2017年6月)	概ね順調に進んでいます	
				③75歳未満の10万人当たりのがんによる死亡数	人	71.5	-	-	(2017年9月)	・数値目標の達成状況は4項目中2項目で未把握ですが、マイME-BYOカルテの利用者数が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	
				④再就業を働きかける未就業看護職員の対象者数(累計)	人	7,600	1,754	23.0			
3	高齢者福祉	概ね順調に進んでいます ・数値目標は3項目中1項目で未把握ですが、「コグニサイズ」など認知症予防をテーマとした教室やイベントなどへの参加者数が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・高齢者の健康・生きがいづくりにとどまらず、高齢者の社会参加の促進についても、取組みを進めていく必要があります。	①小規模多機能型居宅介護サービスの利用者数	人/月	5,700	-	-	(2017年9月)	概ね順調に進んでいます	概ね順調に進んでいます 「コグニサイズ」などをテーマとした教室やイベントの参加者数が順調に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ライフスタイルや健康状態など、現在の高齢者の状況を的確に把握し、効果的な取組みを検討していくことが必要です。 ・高齢者の健康・生きがいづくりにとどまらず、高齢者の社会参加の促進についてより一層の取組みが必要です。 ・県民が認知症に関する情報にアクセスしやすい環境の整備を促進していく必要があります。
				②特別養護老人ホーム整備床数(累計)	床	35,800	35,411	98.9		・数値目標の達成状況は3項目中1項目で未把握ですが、「コグニサイズ」など認知症予防をテーマとした教室やイベントなどへの参加者数が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	
				③「コグニサイズ」など認知症予防をテーマとした教室やイベントなどへの参加者数(累計)	人	38,000	53,742	141.4	速報値		
4	障がい者福祉	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は未把握ですが、グループホームへの支援、就労相談の実施、企業などへの研修など、障がい者の地域生活を支える取組みが進んでおり、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・障がい者の理解促進については、あらゆる世代においてさらに取組みを進めていく必要があります。	①地域のグループホームの利用者数	人/月	8,000	-	-	(2017年7月)	概ね順調に進んでいます	概ね順調に進んでいます 福祉サービスの充実や障害者に対する理解促進や権利擁護のための研修を行うなど、障がい者の地域生活を支える取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・地域社会において、障がい者に対する理解促進のための取組みを一層進めるとともに、障がいのある人もない人もともに参加し活動できる場を増やしていく必要があります。 ・福祉サービスの充実や人材確保の取組みについて、その成果を検証し、より効果的な取組みを検討していく必要があります。 ・福祉サービス従事者をサポートするためのしくみを充実していく必要があります。
				②ホームヘルプサービスなどの利用者数	人/月	15,800	-	-	(2017年7月)	・数値目標の達成状況は未把握ですが、グループホームへの支援、就労相談の実施、企業などへの研修など、障がい者の地域生活を支える取組みが進んでおり、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	
				③一般就労などに向けて福祉サービス事業所などで就労訓練をする人の数	人/月	13,700	-	-	(2017年7月)		

No.	プロジェクト名	2015年度		2016年度							
		県の一次評価	総合計画審議会による二次評価	数値目標項目	数値目標					県の一次評価	総合計画審議会による二次評価(案)
					単位	目標値	実績値	達成率(%)	備考(把握予定時期)		
5	エネルギー	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は未把握ですが、再生可能エネルギーのさらなる導入や、省エネの促進など、着実に分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組みは進んでおり、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・分散型エネルギーシステムの構築によるエネルギーの地産地消や県民の省エネルギー意識の向上などについて、さらに取り組んでいく必要があります。	①県内の年間電力消費量の削減率	%	8.1	-	-	(2017年10月)	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は未把握ですが、再生可能エネルギーのさらなる導入や、省エネの促進など、着実に分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組みは進んでおり、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 再生可能エネルギーのさらなる導入や、省エネの促進など、分散型エネルギーシステムの構築に向けた取組みは進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・再生可能エネルギーなどの普及促進や省エネに対する県民意識の向上につながる取組みをさらに進めていく必要があります。
				②県内の年間電力消費量に対する分散型電源による発電量の割合	%	15.5	-	-	(2017年10月)		
6	産業創出	概ね順調に進んでいます ・数値目標は3項目中2項目で達成しており、生活支援ロボットの商品化が進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・ロボットと共生する社会の具体的な姿が実感できるよう、ロボットの実用化を進めるとともに、社会への導入や普及にもより一層取り組んでいく必要があります。	①ロボット実証実験件数(累計)	件	92	138	150.0		概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は3項目中1項目で未把握ですが、ロボット実証実験件数は目標を大きく上回っており、ライフィノベーションセンターの供用開始や生活支援ロボットの商品化が進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ロボット実証実験件数は目標を大きく上回っており、ライフィノベーションセンターの供用開始や生活支援ロボットの商品化が進むことなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・ロボットの実用化・普及のため、大手企業と中小企業のビジネスマッチングに取り組んでいく必要があります。 ・中小企業が求める人材の確保支援に取り組んでいく必要があります。
				②県外・国外から立地した事業所数(累計)	件	50	47	94.0			
				③神奈川発新技術の実用化件数(累計)	件	116	-	-	(2017年7月)		
7	海外展開	順調に進んでいます ・数値目標は2項目中2項目で達成しており、外国企業の誘致が進むなどプロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます ・中小企業の海外展開支援を行うことで、企業の業務拡大に伴う雇用や売り上げの増加などが図られ、本県経済へのメリットが期待されることを県民に分かりやすく示していく必要があります。	①外国企業の誘致件数(累計)	件	78	82	105.1		順調に進んでいます ・全ての項目で数値目標を達成しており、外国企業の誘致や国際機関との連携が進むなどプロジェクトは順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 2つの数値目標はいずれも達成していますが、民間企業との協定や海外機関等との覚書締結などこれまでの取組みによる本県への具体的な成果が十分に現れていないことから、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・中小企業の海外展開支援の取組みについては、目に見える本県への具体的な成果が現れていないことから引き続きしっかりと取り組んでいく必要があります。 ・中小企業の海外展開支援について、相手国の需要等を踏まえた上で、進出を検討している企業のニーズを十分に把握し、海外展開に伴う課題が解消されるよう取り組む必要があります。
				②本県と海外の国・地域の人的交流件数	件	310	323	104.1			
8	観光	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は3項目中2項目で未把握ですが、国内外からの観光客誘致や新しい観光魅力づくりが着実に進められ、県民ニーズの動向も県が魅力的であると考えられる割合が高いなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・訪日外国人観光客が増加していく中で、国別の来日状況やニーズなどを分析していく必要があります。 ・海外に向けた情報発信は、多言語化など外国人観光客のニーズを踏まえたうえで、より一層進めていく必要があります。	①外国人旅行者の訪問者数(暦年)	万人	183	231	126.2		概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は3項目中2項目で未把握ですが、国内外からの観光客誘致や新しい観光魅力づくりが着実に進められ、県民ニーズの動向も県が魅力的であると考えられる割合が高いなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 国内外からの観光客誘致や新しい観光魅力づくりが着実に進められ、県民ニーズの動向も県が魅力的であると考えられる割合が高いことなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・神奈川の豊かな自然環境を生かした周遊型・体験型ツアーの企画・商品化などにより、地域を訪れる観光客の宿泊も見込める取組みを強化していく必要があります。 ・外国人観光客の受入対策として、民泊の活用について検討していく必要があります。
				②神奈川県を訪問する入込観光客数(暦年)	百万人	192	-	-	(2017年9月)		
				③新たな観光の核づくり地域の入込観光客数(暦年)	万人	308	-	-	(2017年9月)		
9	マゲカル	順調に進んでいます ・神奈川県民ホール(本館、神奈川芸術劇場)及び県立音楽堂の利用者数が増加するなど、全ての項目で数値目標を達成しており、プロジェクトは順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・マゲカルの全県展開にさらに取り組む必要があります。 ・神奈川県民だけでなく、県外からも集客できるようプロモーションなどを検討していく必要があります。 ・世界に向けて神奈川の文化の魅力を発信し、一層人を引きつけていく必要があります。	①神奈川県民ホール(本館、神奈川芸術劇場)及び県立音楽堂の利用者数	人	1,000,000	1,094,885	109.4		概ね順調に進んでいます ・東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会等を契機に、マゲカルの全県展開にさらに取り組んでいく必要がありますが、神奈川県民ホール(本館、神奈川芸術劇場)及び県立音楽堂の利用者数が増加するなど、全ての項目で数値目標を達成しており、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 神奈川県民ホール(本館、神奈川芸術劇場)及び県立音楽堂の利用者数は着実に増加しているものの、マゲカルの全県展開に向けて一層取り組む必要があることから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・マゲカルの全県展開に向け、市町村と連携し、地域間で展開に大きな差が生まれないよう、取組みをさらに推進する必要があります。
				②舞台芸術人材の育成のためのマゲカル・パフォーミングアーツ・アカデミーの受講者数(累計)	人	75	85	113.3			
				③子ども・青少年を対象とした文化芸術の鑑賞・体験事業の参加者数	人	168,000	179,754	106.9			

No.	プロジェクト名	2015年度		2016年度							
		県の一次評価	総合計画審議会による二次評価	数値目標項目	数値目標					県の一次評価	総合計画審議会による二次評価(案)
					単位	目標値	実績値	達成率(%)	備考(把握予定時期)		
10	農林水産	概ね順調に進んでいます ・数値目標は4項目中1項目で未把握ですが、消費者や実需者のニーズに対応した新たな販売契約数が増加するなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・神奈川県らしい農林水産業の今後の取組みについて検討していく必要があります。 ・農林水産業の担い手の確保について、引き続き取組みを進めていく必要があります。	①消費者や実需者のニーズに対応した新たな販売契約数(累計)	件	25	35	140.0		概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は4項目中1項目で未把握ですが、消費者や実需者のニーズに対応した新たな販売契約数が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 消費者や実需者のニーズに対応した販売契約の促進を着実に進めていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・地産地消の推進のため、県産農林水産物に対する県民の認知度向上に向けた取組みをより一層進めていく必要があります。 ・農業等への企業参入の促進の取組みをより一層進めていく必要があります。
②新商品の開発や販路拡大などの成果があった畜産ブランド数(累計)	件	15	24	160.0							
③消費者ニーズを把握して開発・販売した水産物の加工品数(累計)	件	18	18	100.0							
④農林水産業への新たな就業者数(企業参入・雇用就農を含む)	人	130	-	-	(2017年8月)						
11	減災	概ね順調に進んでいます ・数値目標は3項目中2項目で達成しており、訓練を通じて自助・共助・公助の連携強化が図られるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・大規模災害への危機意識が減少することのないよう、引き続き、かながわシェイクアウト訓練などによる意識啓発を進める必要があります。	①「かながわシェイクアウト(いっせい防災行動訓練)」の参加者数(事前登録者数)	万人	160	175	109.3		順調に進んでいます ・全ての項目で数値目標を達成しており、訓練を通じて自助・共助・公助の連携強化が図られるなど、プロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます 訓練を通じて、自助・共助・公助の連携強化が図られたことなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・地域における災害対応力の強化のため、身近な住民同士のつながりを一層強めていく必要があります。 ・外国人観光客を含む来県者のため、災害時の避難誘導等について取り組む必要があります。
②新たに消防の広域化や消防指令センターの共同運用に参加する市町村数(累計)	市町村	17	17	100.0							
③耐震診断が義務付けられた大規模建築物・沿道建築物の耐震診断結果の報告率(累計)	%	65	75.48	116.1	速報値						
12	治安	概ね順調に進んでいます ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、刑法犯認知件数や交通事故件数も着実に減少するなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・体感治安の改善に向けて、引き続き、犯罪や事故のない安全で安心なまちづくりの取組みを進める必要があります。 ・インターネット、スマートフォンなどが一層普及していく中で、サイバー空間の脅威に的確に対応していく必要があります。	①「犯罪や交通事故がなく安全で安心して暮らせること」に関する県民意識(満足度)	%	25.0	25.1	100.4		順調に進んでいます ・全ての項目で数値目標を達成しており、刑法犯認知件数や交通事故件数も着実に減少するなど、プロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます 刑法犯認知件数や交通事故件数が着実に減少していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・体感治安の改善に向けて、不安感の解消につながる様々な取組みを進めていく必要があります。
②地域で活動する防犯ボランティアの育成数(累計)	人	1,500	1,600	106.6							
13	男女共同参画	概ね順調に進んでいます ・数値目標は5項目中2項目で達成しており、事業所における男性の育児休業取得率が目標を大きく上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・仕事と子育てや介護を両立できる環境づくりに一層取り組んでいく必要があります。	①県及び市町村の審議会などにおける女性委員の登用率	%	36.6	33.7	92.0	推計値	概ね順調に進んでいます ・数値目標は5項目中3項目で達成しており、M字カーブの数値を示す「労働力調査における25～44歳の女性の就業率」が目標を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 労働力調査における25～44歳の女性の就業率は着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・女性の活躍を促進するためには、教育という側面からの取組みをさらに進める必要があります。 ・男女を問わず、働きながら育児などをして人々を支援するような環境づくりに、一層取り組んでいく必要があります。 ・男女が共に生き生きと働ける環境づくりに向けて、実効性のある働き方改革に、一層取り組んでいく必要があります。
②事業所における女性管理職の割合	%	8.5	7.4	87.0							
③労働力調査における25～44歳の女性の就業率(暦年)	%	68.2	68.3	100.1							
④事業所における男性の育児休業取得率	%	4.4	5.8	131.8							
⑤配偶者などからの暴力防止や被害者支援に関する基本計画を策定し、総合的、計画的に取り組む市町村数	市町村	26	26	100.0							
14	子ども・青少年	概ね順調に進んでいます ・数値目標は5項目中1項目で未把握ですが、保育所等利用待機児童数の減少など、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・社会的養護を必要とする子どもたちがより家庭的な環境でくらすよう、里親制度を含めた家庭的養護の推進にしっかりと取り組んでいく必要があります。	①保育所等利用待機児童数	人	2,000	497	402.4		概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は5項目中1項目で未把握ですが、保育所等利用待機児童数の減少やニートなどの若者の就職支援が着実に進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 地域若者サポートステーションで支援を受けた就職者数は着実に増加し、保育所等利用待機児童数も減少していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・子ども・青少年施策について、幅広く課題を検討し、長期的な視点に立って取り組む必要があります。 ・子ども・青少年に関わる機関同士の情報共有など、横の連携をより強化する必要があります。 ・総合的な子どもの貧困対策に、一層取り組む必要があります。
②児童相談所が受け付けた児童虐待相談のうち、一時保護を必要とした子どもの割合	%	12.0	13.4	89.5							
③いじめ認知件数のうち、年度内に「いじめの状況が改善」した割合	%	97.6	-	-	(2017年10月)						
④社会的養護を必要とする子どものうち、里親・ファミリーホームで養育される子どもの割合	%	14	14.1	100.7							
⑤地域若者サポートステーションで支援を受けた人の就職者数	人	240	251	104.5							

No.	プロジェクト名	2015年度		2016年度							
		県の一次評価	総合計画審議会による二次評価	数値目標項目	数値目標					県の一次評価	総合計画審議会による二次評価(案)
					単位	目標値	実績値	達成率(%)	備考(把握予定時期)		
15	教育	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は3項目中2項目で数値目標を達成しており、一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進を着実に進めるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・大規模地震の発生に備え、県立学校の耐震化の取組みを着実に推進する必要があります。	①主体的な学習活動を通じて、思考力・判断力・表現力を高めることができたと思う高校生の割合	%	59	51.0	86.4		概ね順調に進んでいます ・数値目標は3項目中1項目で達成しており、一人ひとりの生きる力を高める学校教育の推進を着実に進めるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。 ・「一人ひとりの生きる力」を育むため、子どもたちが自ら学び、考え、行動する力や社会とかかわっていく力を身につけるための取組みをさらに進める必要があります。 ・英語の教科化や言語活動・理数教育の充実など、今後増加する教員の負担を軽減する必要があります。 ・教員や生徒の語学力の向上を図るとともに、国際社会を経験したグローバルな人材の育成に、より一層取り組む必要があります。	
		②「生徒にICT活用を指導する能力」が高まったと感じる教員の割合	%	70	73.3	104.7					
		③県内特別支援学校高等部(知的障害教育部門)卒業生の就職後の定着率	%	83	83.1	100.1					
16	スポーツ	概ね順調に進んでいます ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、県内総合型地域スポーツクラブの総会員数は、着実に増加していることから、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・積極的に運動やスポーツに取り組める環境づくりを進める必要があります。	①小学生が週3回以上の運動やスポーツを実施する率	%	44	44.8	101.8		順調に進んでいます ・全ての項目で数値目標を達成しており、県内総合型地域スポーツクラブの総会員数が着実に増加するなど、プロジェクトは順調に進んでいます。 ・まちの中で運動やスポーツに気軽に取り組める環境づくりを進める必要があります。 ・豊かな自然環境を生かした運動やスポーツの推進にも取り組む必要があります。	
		②県内総合型地域スポーツクラブの総会員数(累計)	人	28,000	30,104	107.5					
17	雇用	概ね順調に進んでいます ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、職業能力開発や就職支援講座による就業支援を着実に進めるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・若者、女性、高齢者など多様なニーズに対応した労働環境を整えとともに、就業機会の拡大に向けた取組みをさらに進める必要があります。 ・就業支援については、ジョブカードの普及状況などを考慮しながら、より効果的な取組みを実施していく必要があります。	①職業技術校生の修了3ヶ月後の就職率	%	93.5	93.6	100.1	推計値	概ね順調に進んでいます ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、職業能力開発や就職支援講座による就業支援を着実に進めるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。 ・外国人人材の活用について、特区を有効に活用することなどにより、人材の養成と確保に積極的に取り組む必要があります。 ・若年者、中高年齢者、障がい者などの就業支援をより一層進めるため、中小企業をはじめとした県内企業との連携を深めていく必要があります。	
		②障がい者の雇用率	%	1.91	1.87	97.9					
18	地域活性化	概ね順調に進んでいます ・数値目標は3項目中2項目で達成しており、未病いやしの里の駅の登録施設数が目標値を上回るなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・地域活性化による効果が県民により一層実感される、さらなる取組みが必要です。	①未病いやしの里の駅の数(累計)	施設	130	156	120.0		概ね順調に進んでいます 未病いやしの里の駅の登録施設数が目標を上回り、着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・未病による地域活性化の取組みについては、観光資源の創出だけでなく、未病の改善が実感できる地域の魅力の発信について、さらに取り組む必要があります。 ・地域活性化のためには、観光振興だけでなく、地域での生活の魅力を高めていく必要があります。	
		②三浦半島地域(鎌倉市を除く)の観光客消費額	百万円	24,800	-	-	(2017年10月)				
		③地域商業ブランド育成などに取り組む団体数(累計)	団体	188	201	106.9					
19	多文化共生	順調に進んでいます ・全ての項目で数値目標を達成しており、災害時通訳ボランティアの登録者数の増加やかなファンステーションの利用者数の増加など、外国籍県民を支援するプロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます ・留学生が卒業・修了後も神奈川でくらしたいと思えるような環境づくりに取り組む必要があります。 ・災害時の対応や子育てに関する相談など、日本語が不自由な外国籍県民に対する言葉のサポートに引き続き取り組む必要があります。 ・日本語を母語としない外国籍生徒や外国につながる子どもなど様々なケースにも引き続き対応していく必要があります。	①災害時通訳ボランティアの登録者数	人	175	231	132.0		順調に進んでいます 災害時通訳ボランティアの登録者数は着実に増加していることなどから、県の一次評価は妥当であり、「順調に進んでいる」と評価します。 ・留学生が神奈川に残りたいと思えるような魅力的な活躍の場や、留学生の力を最大限に生かせるような環境づくりに一層取り組む必要があります。 ・外国人労働者の一層の増加が予測される中で、これまで以上に、多文化理解の促進や多文化共生の地域社会づくりに取り組む必要があります。	
		②かなファンステーションの利用者数	人	6,300	7,160	113.6					
		③地球市民かながわプラザの利用者数	人	390,000	421,094	107.9					

No.	プロジェクト名	2015年度		2016年度							
		県の一次評価	総合計画審議会による二次評価	数値目標項目	数値目標				県の一次評価	総合計画審議会による二次評価(案)	
					単位	目標値	実績値	達成率(%)			備考(把握予定時期)
20	協働連携	順調に進んでいます ・全ての項目で数値目標を達成しており、自立的に活動していこうというNPO法人や、多様な主体による協働を理解する方が着実に増えてきていることがうかがえるなど、プロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます ・寄附意識の醸成にもつながるよう、NPOの活動に関する県民の認知度向上に一層取り組む必要があります。	①寄附者が税制上の優遇を受けられるNPO法人数(累計)	法人	147	134	91.1		概ね順調に進んでいます ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、パートナーシップミーティングを契機に地域課題の解決のために協働して取り組む方や、多様な主体による協働の重要性を理解する方が着実に増えてきていることがうかがえるなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 多様な主体による協働の重要性を理解する方が着実に増えてきていることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・地域課題の解決に向けて活動しているNPOをはじめとした多様な主体とのさらなる連携や、それらへの効果的な支援方法について検討していく必要があります。 ・多様な主体による協働連携型社会の実現に向けて、アクティブなシニア層や地域貢献を望んでいる人が参加しやすい環境づくりに取り組む必要があります。
				②NPOと企業、大学などの協働事業件数	件	27	39	144.4			
21	自然	概ね順調に進んでいます ・数値目標は3項目中1項目で達成しており、丹沢大山の自然再生や人と動物の共生に向けた取組みが進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・城内の農地が生産手段として積極的に活用されるような取組みを含め、里地里山の保全に引き続き取り組む必要があります。	①水源の森林エリア内の私有林で適切に管理されている森林の面積の割合	%	84	82	97.6		概ね順調に進んでいます ・数値目標は3項目中1項目で達成しており、丹沢大山の自然再生や人と動物の共生に向けた取組みが進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	やや遅れています 「小網代の森の年間利用者数」が前年度から減少して達成率が著しく低いこと、「水源の森林エリア内の私有林で適切に管理されている森林の面積の割合」が目標を達成しなかったこと、「里地里山の保全活動に取り組んだ人数」は目標を達成しているものの前年度に比べ人数が減少していることなどから、「やや遅れている」と評価します。 ・数値目標の達成状況に鑑み、これまでの取組みの効果を検証したうえで、プロジェクトのねらいの実現に向けてしっかりと取り組んでいく必要があります。 ・首都圏で唯一と言われる森林から湿地、干潟及び海までが連続して残された貴重な自然環境である「小網代の森」について、環境学習の場としての活用に一層取り組んでいく必要があります。
				②里地里山の保全活動に取り組んだ人数	人	4,800	4,812	100.2	推計値		
				③小網代の森の年間利用者数	人	115,000	45,000	39.1			
22	環境	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は未把握ですが、3項目中2項目で2014年の実績値が2015年の目標値を上回っているなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます ・PM2.5の低減に向けた取組みなど、引き続き環境の保全に関する取組みを進めていく必要があります。	①大規模排出事業者のうち二酸化炭素排出量の削減目標を達成した事業者の割合	%	66	-	-	(2018年4月)	概ね順調に進んでいます ・数値目標の達成状況は未把握ですが、3項目中1項目で2015年の実績が2016年の目標を達成しており、粒子状物質を排出する旧式ディーゼル車の運行規制の徹底やエコドライブの普及啓発を実施するなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 粒子状物質を排出する旧式ディーゼル車の運行規制の徹底やエコドライブの普及啓発を実施するなど、大気環境保全の取組みが進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・地球温暖化対策や資源循環への取組みについて、家庭部門への継続的な意識啓発を進めていく必要があります。
				②一般廃棄物の再生利用率	%	28	-	-	(2018年3月)		
				③PM2.5の自動車排出ガス測定局における年平均値の全局平均値	μg/m ³	15.3	-	-	(2017年7月)		
23	都市基盤	順調に進んでいます ・全ての項目で数値目標を達成しており、道路・鉄道網の整備が着実に進むなど、プロジェクトは順調に進んでいます。	順調に進んでいます ・今後の交通ネットワークの充実を踏まえ、引き続き、神奈川県らしい県土づくりに取り組む必要があります。	①インターチェンジまでの距離5km以内の地域の割合	%	86	86	100.0		概ね順調に進んでいます ・数値目標は2項目中1項目で達成しており、道路・鉄道網の整備が着実に進むなど、プロジェクトは概ね順調に進んでいます。	概ね順調に進んでいます 道路・鉄道網の整備が着実に進んでいることなどから、県の一次評価は妥当であり、「概ね順調に進んでいる」と評価します。 ・景観や歴史文化などの地域の特色を生かしたまちづくりを引き続き推進し、神奈川県らしい県土づくりに取り組む必要があります。
				②「道路の渋滞がないなど、自動車県内各地へスムーズに移動できること」に関する県民意識(満足度)	%	18.6	18.4	98.9			